



第25号 発行 平成25年6月1日 (隔月発行)

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション(協働) によって夢を広げ、夢があふれる空間をめざします。 発行:西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ 〒188-0012 東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル

特別寄稿

協働コミュニティ課 浜名幹男課長

市民協働推進センターゆめこらぼは、開設から 5年目を迎えました。年々、NPOや市民活動団 体の登録数も増えてまいりまして、現在では 100 団体を超える登録をしていただいております。

この間、「NPO市民フェスティバル」、「協働を考えるシンポジウム」、「行政職員と団体との懇談会」など、様々な事業を実施してまいりまして、活動発表の場づくりや団体間の交流、市職員との相互理解などに努めてきたところです。引き続き、これらの事業を発展させていくとともに、団体間のネットワーク作りなどに取り組んでまいります。今後も、市民、NPO、市民活動団体、企業などと行政が、互いの立場を尊重しながら協働のまちづくりを推進していくように、努めてまいりたいと思います。

新年度事業がスタート

2012 年度事業報告が承認されました。詳細は ゆめぼらぼホームページでご覧ください。

今年度は、昨年度から始まった本格的活動展開期の2年目として事業をスタートしました。

昨年度に新規事業として初めて行った「まちづくり円卓会議」と「行政職員と市民活動団体の懇談会」および「NPO・市民活動ネットワーク」を重点において取組むこととしております。また、開設当初から運営委員を務めていた5名の方の任期満了に伴い、新たなメンバーを迎え、新たな正副委員長のもと運営委員会も発足しました。

新運営委員長・副運営委員長 メッセージ

ゆめこらぼは開設以来、NPOをはじめとする市民活動団体と行政や企業との連携・協働を推し進め、市民活動の支援はもちろんのこと、行政とNPOとの対話の場を設けたり、NPOや市民活動団体が相互に交流できるような機会を積極的につくってきました。多様化する地域課題の解決のためには、市民の皆さまのより一層の参加・参画が必要となります。引き続き、ゆめこらぼへの協力をお願いいたします。(委員長 坂口和隆)

4年前、ゆめこらぼ通信第1号を目にした時が私とゆめこらぼとのご縁の始まりでした。私どもハンディキャップサポートウーノの会は障害者福祉に携わっている団体で、行政とは専ら委託受託の関係です。協働という言葉は先駆的な響きに感じたものでした。1年後、運営委員となり、思いがけず深く関わらせていただくことになりました。異分野の方々との出会いがあり、協働についてだけでなく、様々な面で学ばせていただいています。市民活動等について専門家の坂口委員長に対し、いつまでも勉強中の身ですが、副委員長という立場でこの一年ゆめこらぼに関わらせていただきたいと考えております。

(副委員長 田辺広子)

<新委員紹介> 五十音順

田中紀子委員(NPO法人西東京子育てコム)

田中友子委員(田中葬祭株式会社)

富沢木実委員(公募市民)

中村堅司委員(西東京自然を見つめる会)

藤江亮介委員(早稲田大学総合研究機構)

ゆめサロン

我らの町の市民名画座 西東京シネマ倶楽部

第1回ゆめサロンが5月26日(日)ゆめこらぼサロンコーナーで開催され、14名の参加がありました。今回は西東京シネマ倶楽部代表の山本恵司さんとスタッフ5名をお招きし「映画を通してまちづくり」と題してお話していただきました。

2001年合併記念の映画祭をかわきりに、翌年からは若手監督を育てる目的で始めた自主制作映画コンペティションを開催。当初は 48 作品の応募でしたが、近年は 150 本を超える応募があり、プロとして通用する監督を探すレベルに達しているとのこと。

そのほか、市民名画座、西東京市民映画祭などの事業があり、2010年には自主映画上映の活動が認められ日本映画ペンクラブ賞を受賞。また、映画祭において監督トークショーに出演いただいた、山田洋次監督、滝田洋二郎監督、深作欣二監督、故若松孝二監督、佐藤純彌監督らとのエピソードも披露していただきました。

同倶楽部は正会員・鑑賞会員・スポンサー会員・上映ボランティア会員で成り立っています。現在は、地元商店・企業のコマーシャル映画を製作し、こもれびホール市民名画座の本編前に上映しています。これらのCMは試験配信中のインターネットテレビ(西東京TV)でも見られ、6月には自主製作コンペの入賞作品と併せて本格配信(無料)を目指しています。「いい映画はいい環境、いい条件で映すとどんどんよくなる。長年携わってきて感じている。映画を通して人々が知りあってその結果まちづくりに貢献できれば」と熱く語られた2時間でした。



▲映画を熱く語る山本さん

第2回 まちづくり円卓会議

第1回まちづくり円卓会議は、地域の問題解決のため多種多様な人が立場の違いを超えて、集い、話し合う場として2月21日(木)に開催しました。 (詳細は前号参照)

第2回は、3月29日(金)に、第1回の会議メンバーで、第1回目を振り返り、今後の進め方についての話合いを行いました。多様な意見・アイディアが沢山出されましたが、今後は、情報交換会の場も活用しながら、課題解決に繋げられるまちづくり円卓会議を続けていくことが確認されました。

広報力UP講座

ホームページを公開したら 最初にやるべきこと

3月25日(月)に、ソーシャルメディア集 客コンサルティングの会社代表の白鳥友康さ んをお迎えして、セミナー「ホームページを公 開したら最初にやるべきこと」を開催しました。 インターネットを使っての集客の基礎、アク セスアップに繋がる秘訣を学べる内容でした。 ホームページの目的がはっきりしているか、申 込み等のページが明確になっているか、重要な ポイントとなるアクセスの解析についても活 用しやすいサイトを教わりました。また、メー ルマガジンやソーシャルメディアネットワー クは、攻めの広報手段となり、その相乗効果も 教わりました。待ってばかりでは人が来ないの はホームページでも同じこと。すでにホームペ ージを持っている参加者にとって、それぞれや るべきことに気づく有益な機会となったよう です。



▲熱心に講座を聴く参加者の皆さん

これからのイベント情報!

広報力UP講座 第2弾 ホームページを

公開したら最初にやるべきこと

市民活動を伝えるために、ホームページを上手 に使って知名度や注目度をアップするためのノ ウハウを学びます。

◆日時:6月30日(日)14:30~16:30

◆場所:イングビル3階 第3,4会議室

◆対象・定員:市内在住・在勤・在学の方、市民 活動団体やNPO関係者で、ホームページの効 果を発揮させたい方。先着30名まで。

◆参加費:無料

◆講師:白鳥友康氏 (株)ウィズダムデザイン代表

◆締切:6月28日(金)

NPO 市民活動ネットワーク NPO 市民活動団体~交流の集い~

登録団体をはじめとするNPO法人や市民活動団体のネットワークづくりを目指して交流の集いを開催します。

◆日時:6月29日(土)14:00~16:00

◆場所:田無庁舎一階 旧食堂 (南町 5-6-13)

◆対象・定員:市内で活動中のNPO法人・市民 活動団体の方、市内在住・在勤・在学で市民活 動に関心のある方。先着70名まで。

◆参加費:500円

◆締切:6月20日(木)

NPO 会計講座 実務編

NPO法人の経理スタッフを主な対象とした 経理実務の入門的な講座です。NPO会計の専門 家が分かりやすく丁寧に教えます。

◆日時:7月25日(木)18:30~20:00

◆場所:イングビル3階 第3,4会議室

◆対象・定員:市内市民活動団体やNPO団体の 関係者、市民活動に関心のある方。先着 20 名 まで。

◆参加費:500円(資料代)

◆講師:岡田純氏(税理士)

◆締切:7月22日(月)

NPO法人のための会計に関する 専門相談会

NPO法人や市民活動団体の会計や税務について、

専門相談員が個別にご相談いたします。

◆日時:7月25日(木)20:00~21:00

◆場所:イングビル3階 第3,4会議室

◆対象・定員:市内のNPO法人・市民活動団体。 定員は3団体まで。(申込多数の場合、抽選)

◆参加費:1団体500円(1団体20分まで)

◆講師:岡田純氏 (税理士)

◆締切: 7月22日(月)

各イベントへのご参加は、電話、ファックス、Eメール で事前にゆめこらぼへお申込みください。

登録団体の行事・イベント

◆二人展(広井政昭 小倉三郎)

-江戸独楽と動物の組み木-

日時:6月2日(日)~8日(土)13:30~17:00 場所:子どもの広場(向台町1-11-5小林宅) 参加費:500円 主催:子どもの広場

◆声の科学と工学-声・言葉の疑問について

日時:6月6日(木)14:00~16:00

場所:西東京市民会館 受講費:500円

主催:NP0 法人 東京雑学大学

◆白鳥座のブラックホールのお話し

-X線天文学の進歩

日時:6月20日(木)14:00~

場所:西東京市民会館 受講費:500円

主催: NPO 法人 東京雑学大学

新たな登録団体 <2013 年 5 月末日現在>

◆西東京狭山境緑道花の会

目的:都公園協会の登録団体で公園管理センターから支援を受けて意見交換しながらスキルアップを楽しんでいます

◆非核平和をすすめる西東京市民の会

目的:私たちは市の平和事業を行っていきます。

◆西東京ビジネス交流会

目的:事業者向けにビジネスマッチングを支援 する活動を行うことにより、地域貢献・地域活 性化に寄与することを目的として活動をしま す

<4月末現在、登録団体は108団体になりました

>

≪助成金情報≫

◆太陽生命厚生財団助成事業

【対象】在宅高齢者、在宅障害者等のために福祉活動や文化活動および復興支援を行うボランティアグループ等で①在宅高齢者、在宅障害者の自助自立の意欲を引き出し、鼓舞する等、生活の支援に必要な事業・費用②在宅高齢者、在宅障害者の福祉に関する事業をするために必要な機器、機材、備品等を整備する事業・費用

【助成金額】1件10万円~50万円

【応募期限】6月30日

【問い合せ】太陽生命厚生財団 事務局

☎&FAX 03-3272-6268

◆公益財団法人 公益推進協会「夢屋基金」

【対象】子どもの健全育成、環境保全、災害救済、 発展途上国支援の分野で活動する非営利法人

【助成金額】50万円

【応募期限】6月20日

【問い合せ】公益財団法人公益推進協会事務局

☎03-5425-4201 mail:info@iva.jp

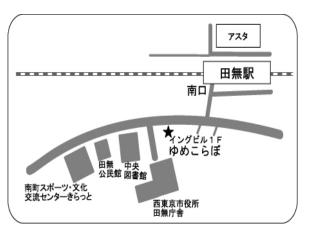
◆Panasonic NPO サポートファンド

【対象】環境問題に取り組み、強い市民社会の創造を目指す NPO/NGO、子どもたちの健やかな育ちを応援する新しい社会の創造を目指し、先駆的な活動と自己変革に挑戦する NPO/NGO

【助成金額】1団体への上限200万円

【応募期限】7月31日

【問い合せ】パナソニック株式会社ブランドコミュニケーション本部 CSR 社会文化グループ。☎03-3574-5665



みんなの本棚

『協同で仕事をおこす』 -社会を変える生き方・働き方-

「協同で仕事をおこす。」私はこれに大賛成です。協同でおこすというのは、雇われて働く「雇用労働」に対して、みんなで出資し責任を分かち合い仕事をすることだそうです。



私の大賛成の理由は、日本には仕事を持っていなくても能力

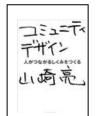
編著 広井良典

・時間のある人がたくさんいるということ。人は仕事をしたい、誰かの役に立ちたい、誰かに 必要とされると嬉しいと思うからです。

誰かに必要とされて仕事をすると活力がわいてきます。活力のある人が多い地域は元気であり、その輪がどんどん大きくなると日本が元気になります。平均寿命が世界一の日本の 60 代70 代は、とても若くて元気。教養があり、今は子育てに専念しているが・・・、という主婦層もたくさんいます。こんな力を活かさないのは本当にもったいない。

大きな仕事、大儲けができる仕事ではありませんが、少し頭を切り替えて、生き方・働き方を、みんなで考えていけるといいなと思える本

≪購入図書のおしらせ≫



コミュニティデザイン

-人がつながるしくみをつくる-

著者 山崎 亮

開館日:水〜月(10時〜21時)土・日・祝日オープン

休館日:火曜日(祝日の場合は開館し次の平日に休館)・年末年始

〒188-0012 西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階



西東京市市民協働推進センター ゆめこらぼ Tel: 042-497-6950 FAX: 042-497-6951 E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp URL: http://www.yumecollabo.jp/